
石川の森林に関する県民意識調査報告書

平成 1 6 年 9 月

石川県 農林水産部 森林管理課

目 次

1 . アンケート調査の概要-----	1
1 - 1 調査目的-----	1
1 - 2 調査項目-----	1
1 - 3 調査対象と標本の抽出方法-----	1
1 - 4 調査方法-----	2
1 - 5 実施期間-----	2
1 - 6 回答者数と回収率-----	2
1 - 7 回答者の内訳-----	3
2 . 調査結果-----	5
2 - 1 森林への親しみ-----	5
2 - 2 森林の利用状況-----	6
2 - 3 森林に対する認識-----	7
2 - 4 期待する森林の役割-----	8
2 - 5 森林・林業を取り巻く問題への関心-----	10
2 - 6 今後の森林整備のあり方-----	12
2 - 7 森林に関する意見等-----	15
3 . まとめ-----	16
資料	
アンケート調査票-----	17

1

アンケート調査の概要

1 - 1 . 調査目的

森林整備に関する施策を展開していく上で、県民の考えや意見を踏まえた森林行政の推進を目指すため、森林に対する県民の意識ニーズを把握し、森林の持つ公益的機能を維持する政策策定に資することを目的とした。

1 - 2 . 調査項目

調査項目は以下の項目とした。

- (1) 森林への親しみ
- (2) 森林の利用状況
- (3) 森林に対する認識
- (4) 期待する森林の役割
- (5) 森林・林業を取り巻く問題への関心
- (6) 今後の森林整備のあり方
- (7) 森林に関する意見等

1 - 3 . 調査対象と標本の抽出方法

調査対象は石川県全体の 18 歳以上の県民とし、住民基本台帳をもとに、41 市町村をそれぞれ一つの層とする層化無作為抽出法により 3,000 人を抽出した。

具体的な抽出方法は、以下に示すとおりである。

- (1) 各市町村には予め乱数を割り当てた。
この乱数を住民基本台帳におけるスタートデータとして抽出を開始した。
- (2) その後は、「乱数+400 番」ごとに割り当てた抽出番号に該当するデータを順次抽出した（県人口 118 万 ÷ 3,000 より 400 番ごととした）。
抽出番号とはすなわち、「乱数+400×0」、「乱数+400×1」、「乱数+400×2」、「乱数+400×3」、…「乱数+400×n」のことである（n は市町村ごとに定められた任意の個数）。
 - ・抽出番号が人口を超えてしまった場合、残りの数を引き継ぎ、最初のデータからカウントした。
 - ・複数人で 1 つの市町村を抽出する場合は、住民基本台帳データを人数で均等割りしたものを、各々が上記に準じて抽出した。

(3) 抽出する際の必要条件は「満 18 歳 (昭和 60 年 = 1985 年以前の生まれ)」とした。

抽出番号に該当するデータがこの条件に当てはまらない場合、次番号を抽出対象とした (抽出対象に当てはまるまで次番号へ移動)。

(4) 抽出する内容は「氏名」「住所」の 2 項目とした。

1 - 4 . 調査方法

郵送配布郵送回収とした。

調査票を配布して、およそ 10 日後に締め切りを設定した。

また、締め切り 2 ~ 3 日前に、調査票の提出を催促する督促状を送付した。

1 - 5 . 実施期間

調査票配布は平成 16 年 9 月 6 日 (月)。締め切り日を平成 16 年 9 月 15 日 (水) とした。

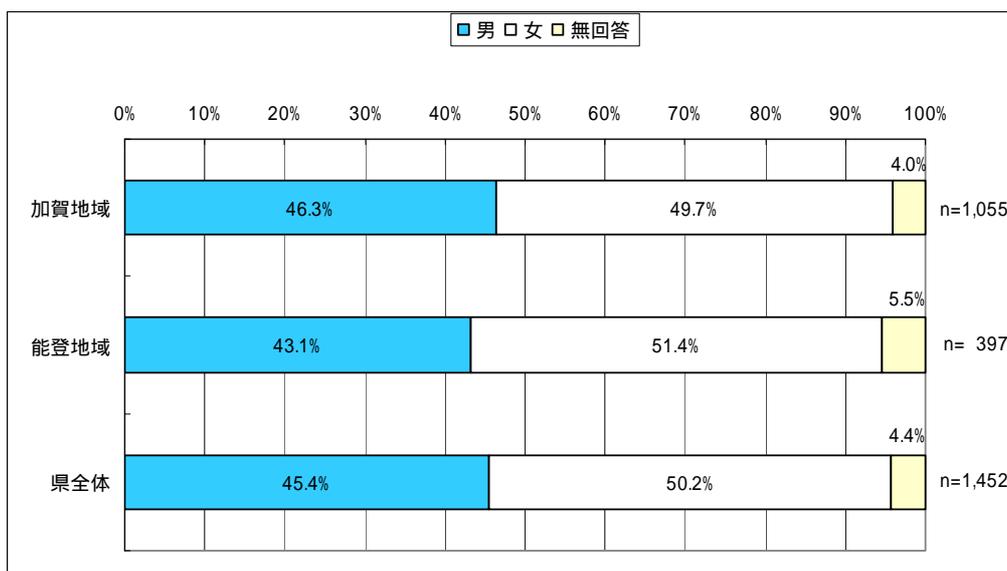
1 - 6 . 回答者数と回収率

回答者数は 1,452 人、回収率は約 48.4% (=1,452 / 3,000) であった。

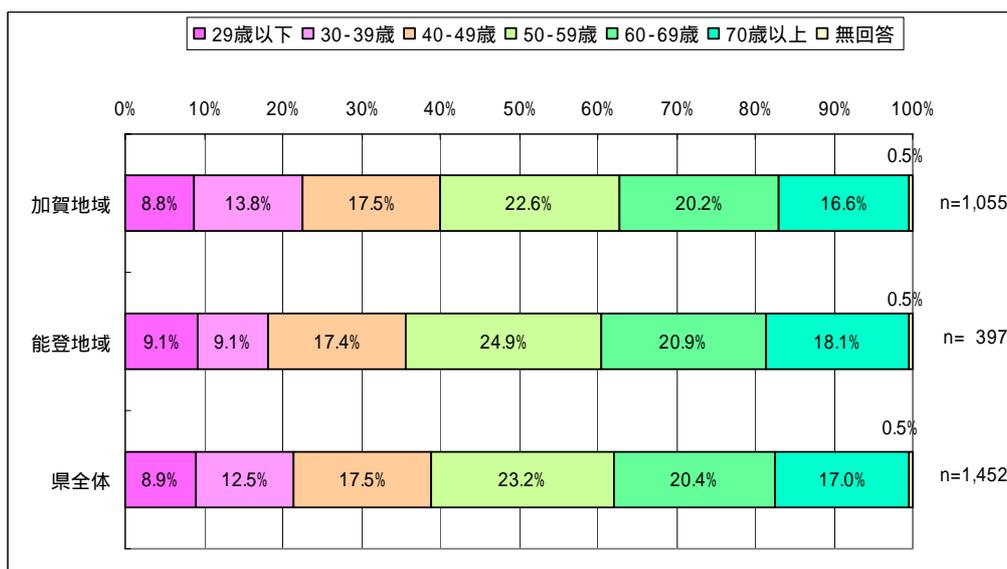
1 - 7 . 回答者の内訳

回答者の内訳は以下の通りであり、加賀地域 1,055 人、能登地域 397 人であった。そのうち、加賀地域は男性約 46%、女性約 50%、無回答 4%。能登地域は男性約 43%、女性約 51%、無回答約 6%。県全体では男性約 45%、女性約 50%、無回答約 4%であった。

年齢階層別では、加賀地域は 50-59 歳が最も多く、次いで 60-69 歳、40-49 歳となった。一方、能登地域は 50-59 歳が最も多く、次いで 60-69 歳、70 歳以上となった。

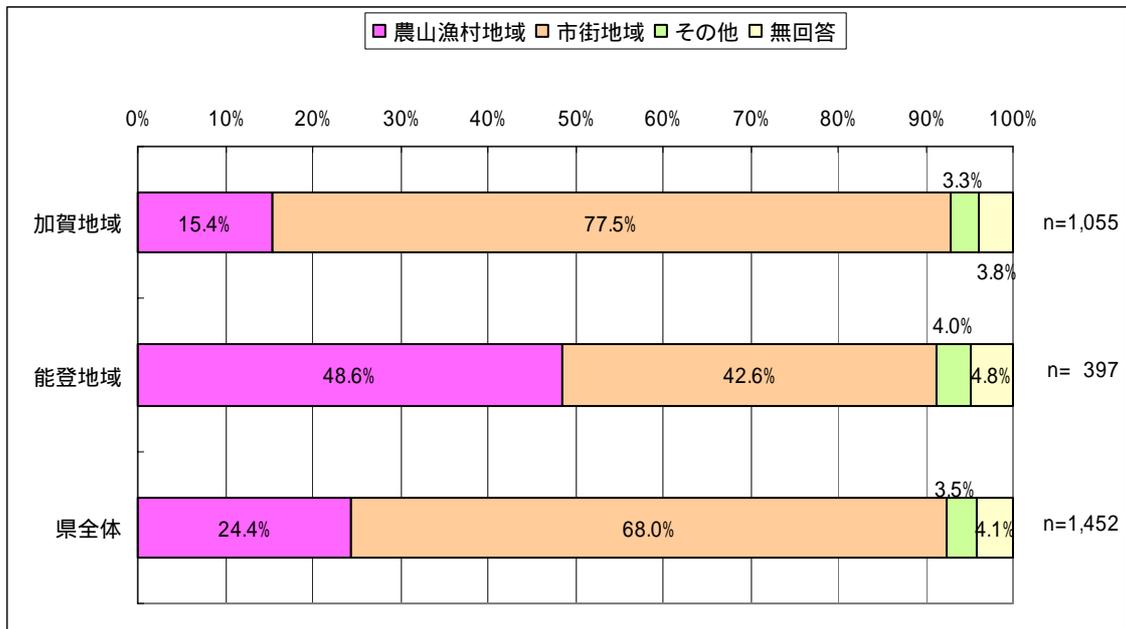


回答者の地域別性別構成



回答者の地域別年齢構成

地域特性別では、加賀地域は市街地域が約 78%と最も多いが、能登地域は農山漁村地域が約 49%、市街地域が約 43%となった。



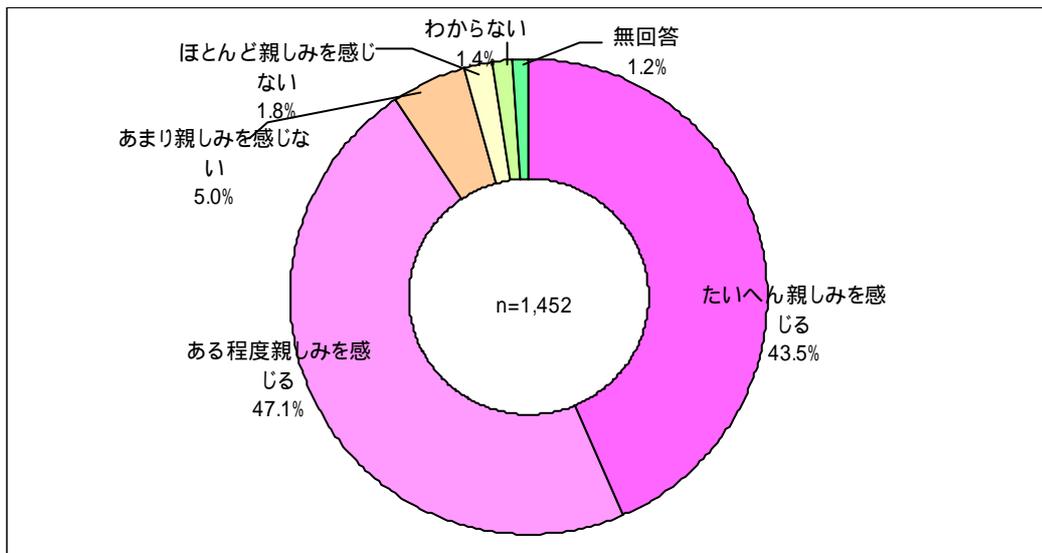
回答者の地域別地域特性

2. 調査結果

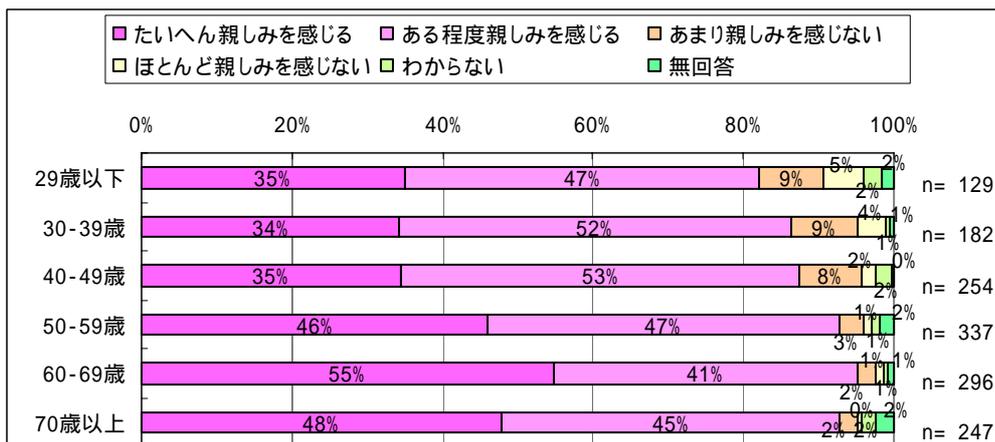
2 - 1 . 森林への親しみ

あなたは森林に親しみを感じますか。

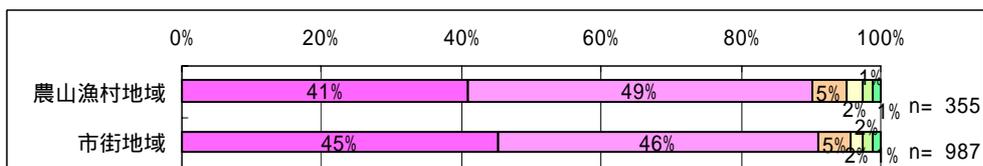
「親しみを感じる」は約 91% (「たいへん親しみを感じる」43.5% + 「ある程度親しみを感じる」47.1%) 「親しみを感じない」は約 7% (「親しみを感じない」5.0% + 「ほとんど親しみを感じない」1.8%) であった。



年齢別にみると、50 歳以上で他の年齢層と比べて「親しみを感じる」がやや多かった。



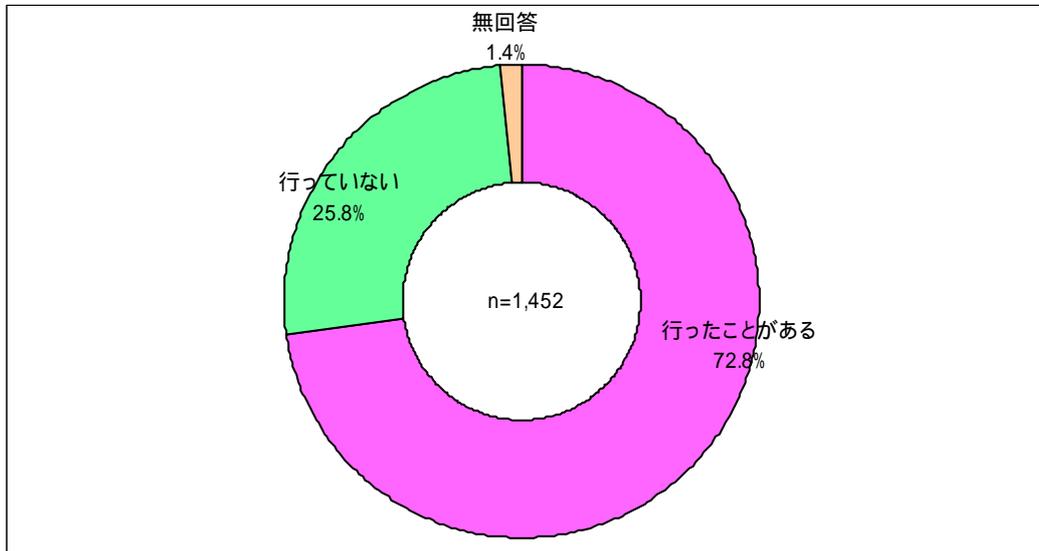
地域別では、大きな差異はみられなかった。



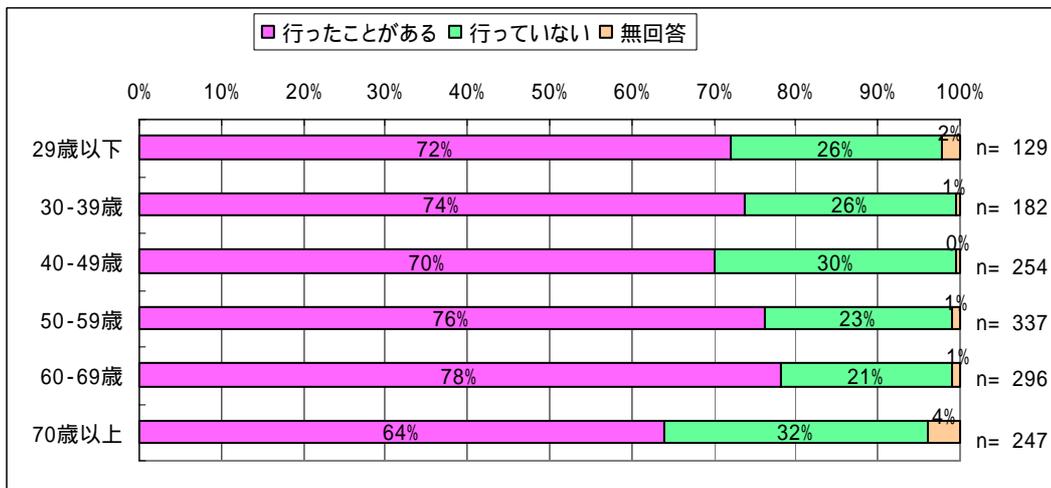
2 - 2 . 森林の利用状況

あなたは、ここ1年くらいの間に山や森に行きましたか。

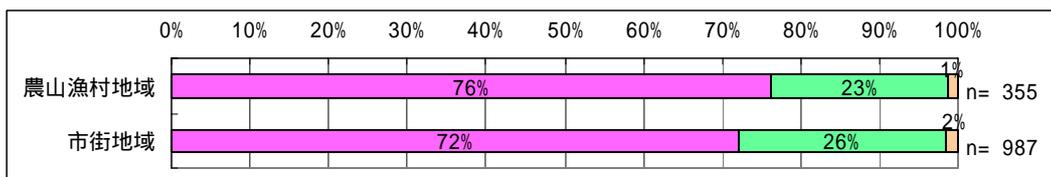
「行ったことがある」が約73%、「行っていない」が約26%であった。



年齢別にみると、70歳以上で他の年齢層に比べて「行っていない」がやや多かった。



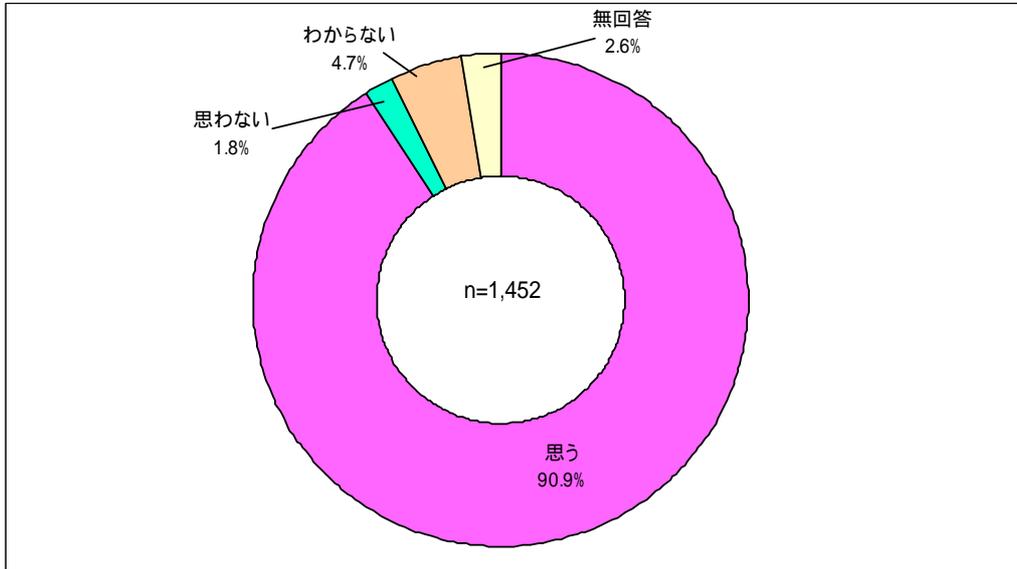
地域別では、大きな差異はみられなかった。



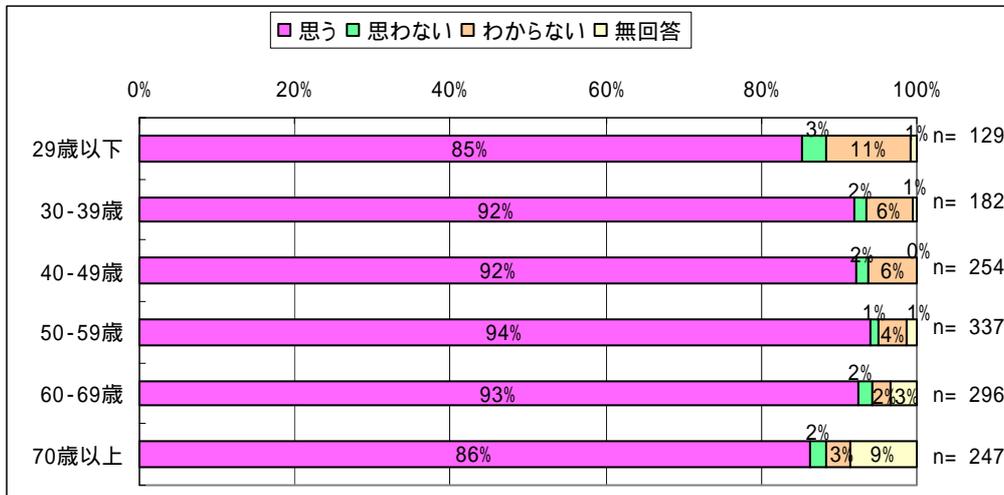
2 - 3 . 森林に対する認識

あなたは、日常生活の中で、森林の恩恵を受けていると思いますか。

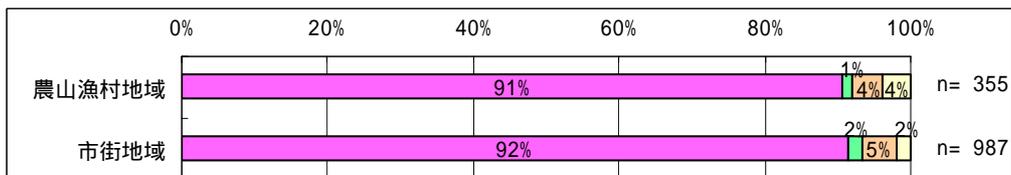
「思う」が約 91%、「思わない」が約 2%であった。



年齢別にみると、大きな差異はないが、29歳以下で「思う」がやや少なかった。



地域別では、大きな差異はみられなかった。

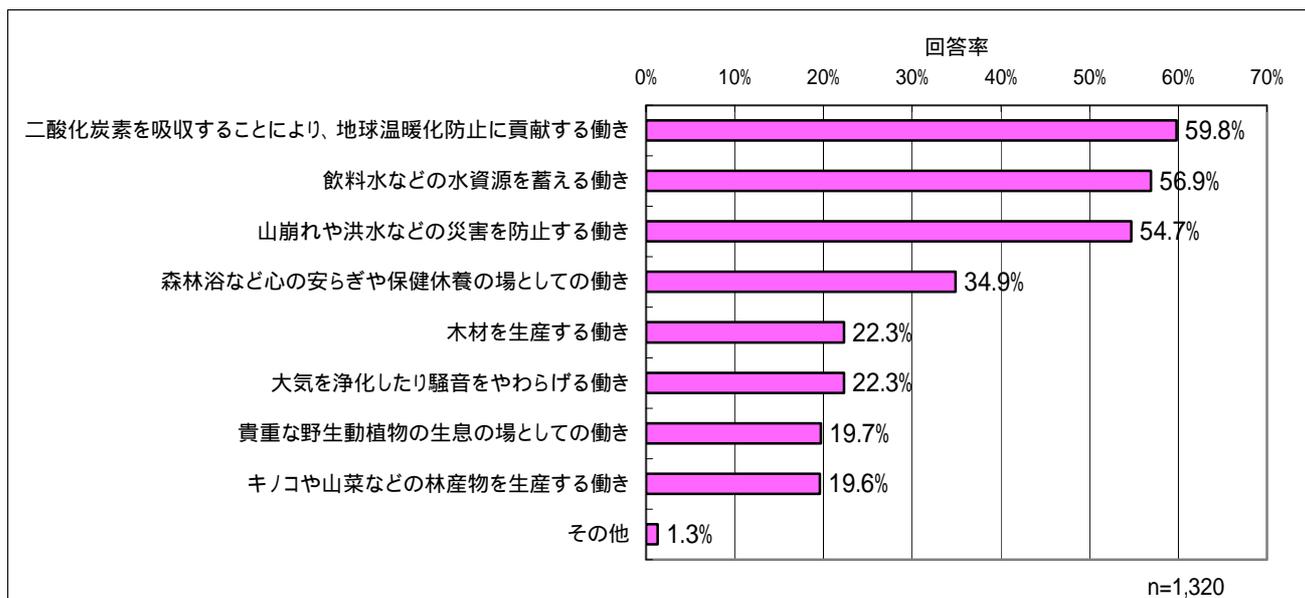


2 - 4 . 期待する森林の役割

2 - 3で『森林の恩恵を受けている』と回答した方にお伺いします。

あなたは、森林にどのような働きを期待しますか。(複数回答：3つまで)

2 - 3で『森林の恩恵を受けている』と回答した人(1,320人)が考える森林へ期待する働きは、「二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化防止に貢献する働き」約60%、「飲料水などの水資源を蓄える働き」約57%、「山崩れや洪水などの災害を防止する働き」約55%の順に多かった。



年齢別にみると 59 歳以下で「地球温暖化防止に貢献する働き」を挙げる人が多く、60 歳以上では「水資源を蓄える働き」を挙げる人が多かった。

項目	該当者数	二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化防止に貢献する働き	飲料水などの水資源を蓄える働き	山崩れや洪水などの災害を防止する働き	森林浴など心の安らぎや保健休養の場としての働き	木材を生産する働き	大気を浄化したり騒音を和らげる働き	貴重な野生動植物の生息の場としての働き	キノコや山菜などの林産物を生産する働き	その他
(年齢)	人									
29歳以下	110	63%	45%	51%	40%	19%	28%	24%	12%	0%
30-39歳	167	67%	47%	37%	47%	17%	27%	34%	16%	2%
40-49歳	234	65%	47%	56%	39%	17%	29%	24%	19%	1%
50-59歳	317	62%	60%	58%	38%	19%	22%	17%	20%	2%
60-69歳	274	58%	62%	61%	30%	24%	16%	16%	22%	2%
70歳以上	213	47%	71%	57%	20%	36%	16%	11%	24%	0%

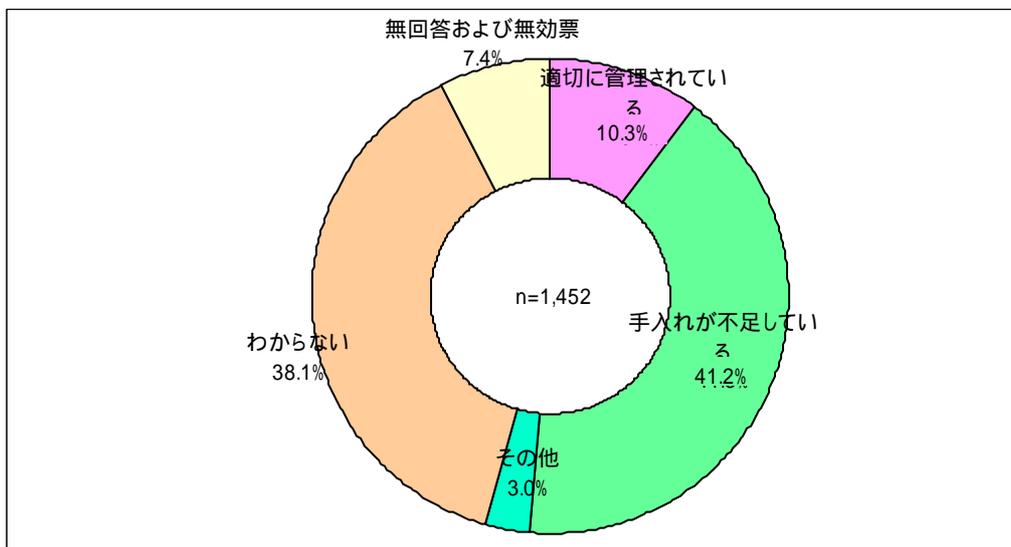
地域別にみると、農山漁村地域では「水資源を蓄える働き」を挙げる人が多く、市街地域では「地球温暖化防止に貢献する働き」を挙げる人が多かった。

	該当者数	二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化防止に貢献する働き	飲料水などの水資源を蓄える働き	山崩れや洪水などの災害を防止する働き	森林浴など心の安らぎや保健休養の場としての働き	木材を生産する働き	大気を浄化したり騒音を和らげる働き	貴重な野生動植物の生息の場としての働き	キノコや山菜などの林産物を生産する働き	その他
(住まい)	人									
農山漁村地域	321	55%	61%	53%	31%	31%	18%	17%	28%	2%
市街地域	903	62%	56%	55%	37%	20%	24%	21%	17%	1%

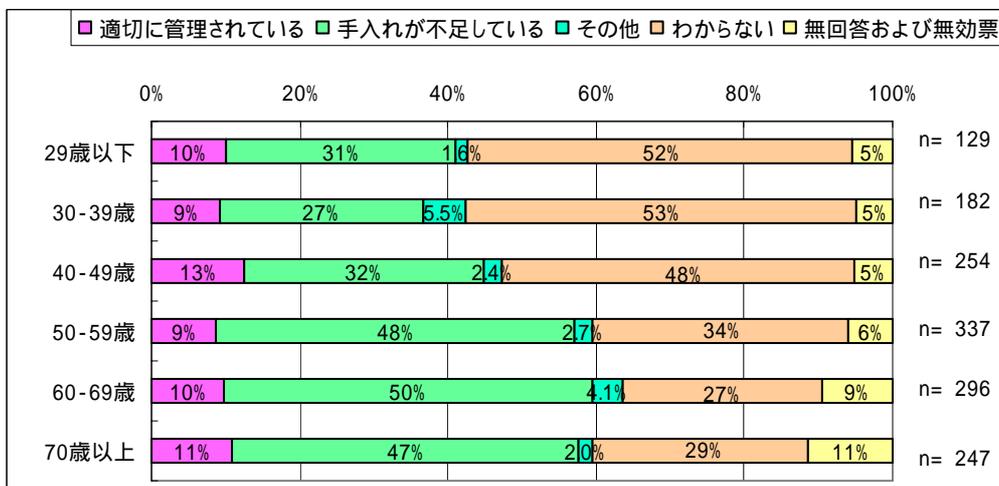
2 - 5 . 森林・林業を取り巻く問題への関心

あなたは、本県の森林の現状についてどう考えていますか。

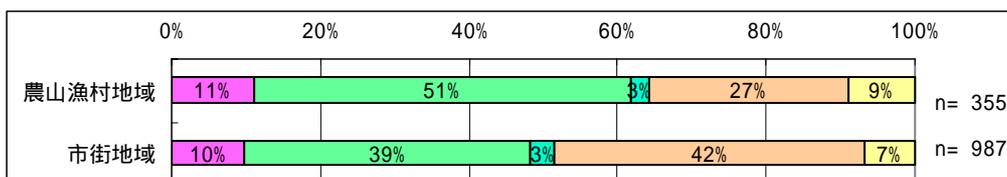
森林の管理に対する現状については、「手入れが不足している」が約 41%、「わからない」が約 38%となった。



年齢別にみると、50歳以上は「手入れが不足している」と感じ、49歳以下は「わからない」とする傾向にあった。

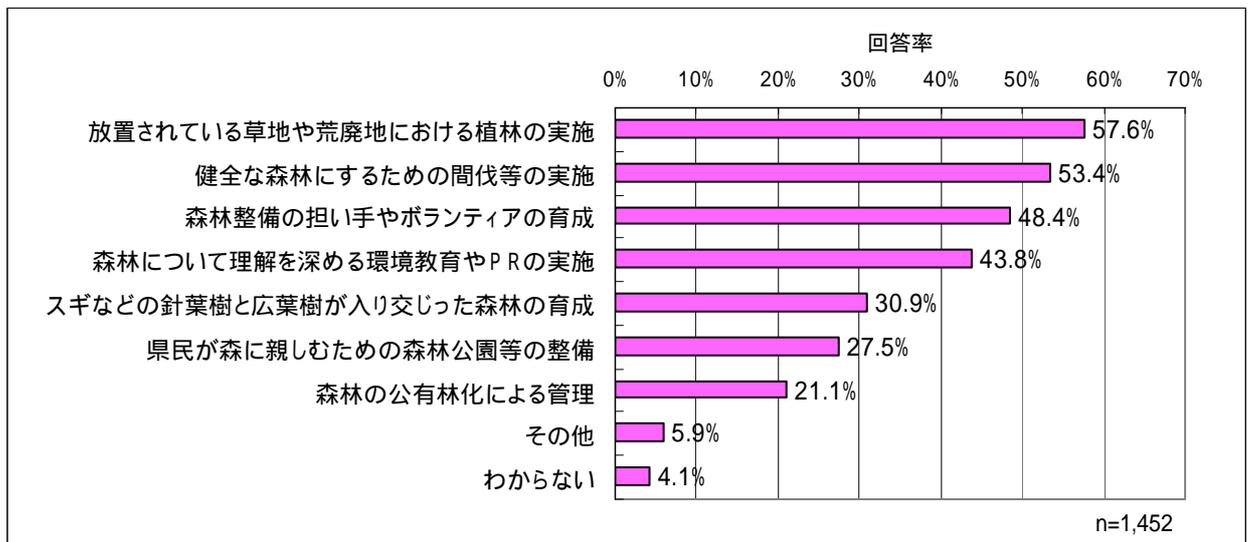


地域別にみると、農山漁村地域では「手入れが不足している」と感じる人が多く、市街地域では「手入れが不足している」と「わからない」がほぼ等しい傾向にあった。



あなたは、本県の森林を守り育てていく上で、今後どのようなことが必要だと思われるか。(複数回答：いくつでも)

今後必要だと思うことについては、「放置されている草地や荒廃地における植林の実施」約 58%、「健全な森林にするための間伐等の実施」約 53%、「森林整備の担い手やボランティアの育成」約 48%、「森林について理解を深める環境教育やPRの実施」約 44%の順に多かった。



年齢別にみると、59歳以下は「植林の実施」を、60歳以上は「間伐等の実施」を挙げる人が多かった。

	該当者数	放置されている草地や荒廃地における植林の実施	健全な森林にするための間伐等の実施	森林整備の担い手やボランティアの育成	森林について理解を深める環境教育やPRの実施	スギなどの針葉樹と広葉樹が入り交じった森林の育成	県民が森に親しむための森林公園等の整備	森林の公有林化による管理	その他	わからない
(年齢)										
29歳以下	129	58%	40%	52%	37%	17%	30%	18%	7%	8%
30-39歳	182	58%	42%	51%	45%	25%	31%	14%	9%	3%
40-49歳	254	56%	48%	53%	43%	30%	24%	27%	5%	4%
50-59歳	337	59%	56%	54%	49%	33%	22%	23%	6%	4%
60-69歳	296	59%	60%	43%	43%	36%	32%	22%	5%	3%
70歳以上	247	55%	63%	40%	41%	33%	29%	19%	4%	4%

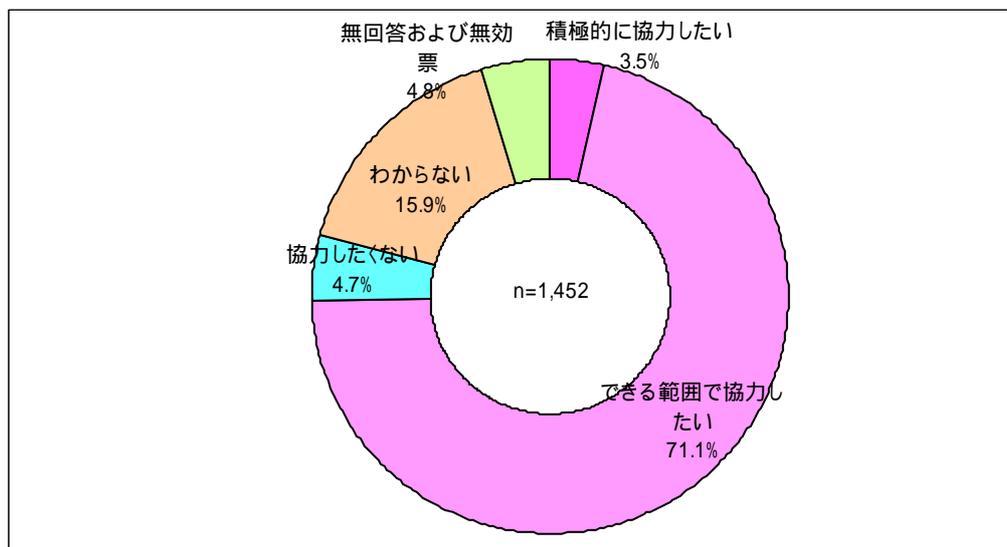
地域別にみると、農山漁村地域は「間伐等の実施」を、市街地域では「植林の実施」を挙げる人が多かった。

	該当者数	放置されている草地や荒廃地における植林の実施	健全な森林にするための間伐等の実施	森林整備の担い手やボランティアの育成	森林について理解を深める環境教育やPRの実施	スギなどの針葉樹と広葉樹が入り交じった森林の育成	県民が森に親しむための森林公園等の整備	森林の公有林化による管理	その他	わからない
(住まい)										
農山漁村地域	355	48%	53%	45%	44%	34%	23%	23%	6%	4%
市街地域	987	61%	55%	50%	45%	29%	30%	20%	6%	4%

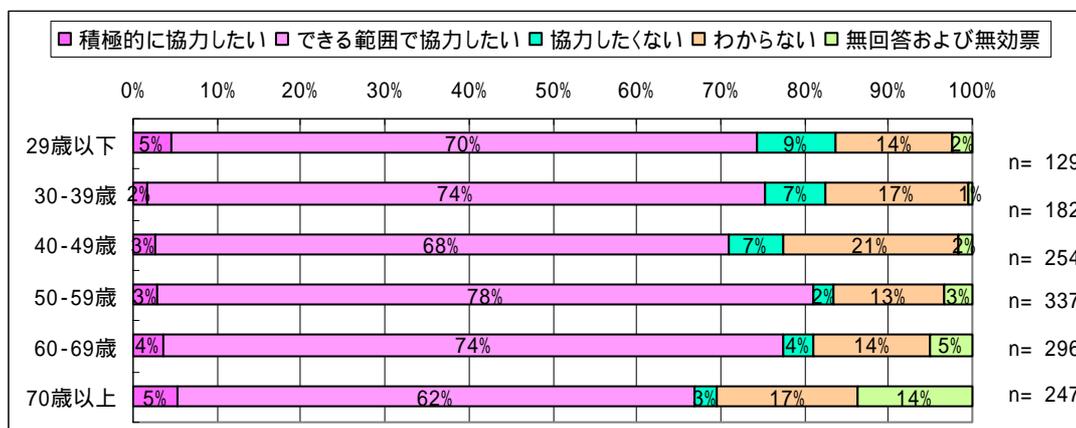
2 - 6 . 今後の森林整備のあり方

森林の公益的な働きを維持強化していくために、費用負担やボランティア活動（労働力提供）などに協力したいと思いませんか。

「協力したい」が約 75%（「積極的に協力したい」3.5% + 「できる範囲で協力したい」71.1%、「協力したくない」が約 5%、「わからない」が約 16%であった。



年齢別にみると、大きな差異はないが、49歳以下と70歳以上で「協力したい」がやや少なかった。

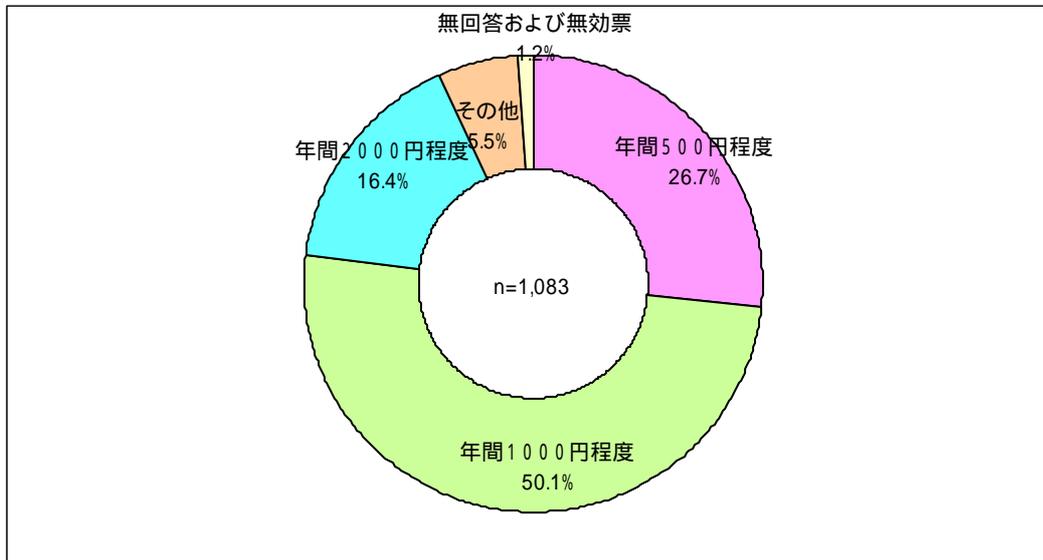


地域別では、大きな差異はみられなかった。

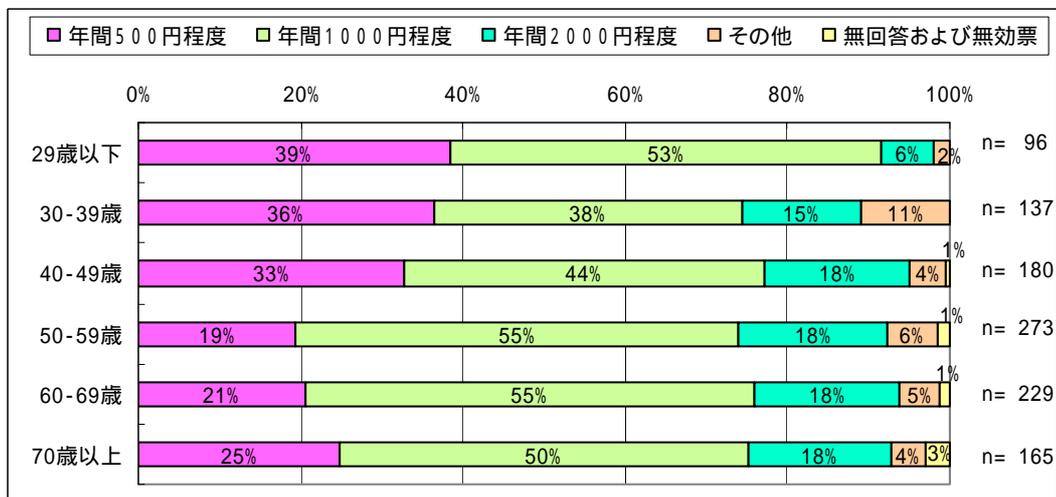


先ほどの質問で、『協力したい』と答えた方にお伺いします。
 仮に、あなたが費用負担するならば、年間どのくらいなら負担しても良いと思いますか。

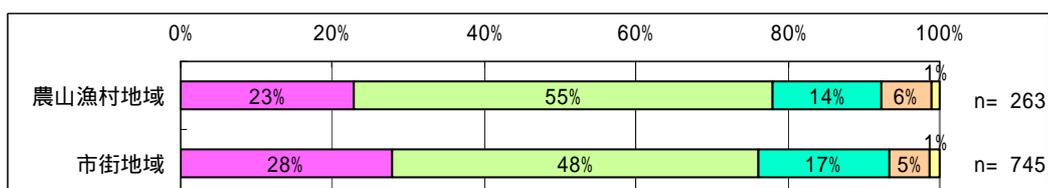
協力したい人(1,083人)が考える費用負担は、「年間1000円程度」が約50%と最も多く、次いで「年間500円程度」の約27%、「年間2000円程度」の約16%となった。



年齢別にみると、各年齢層とも「年間1000円程度」が最も多かった。また、49歳以下では他の年齢層に比べて「年間500円程度」が多かった。

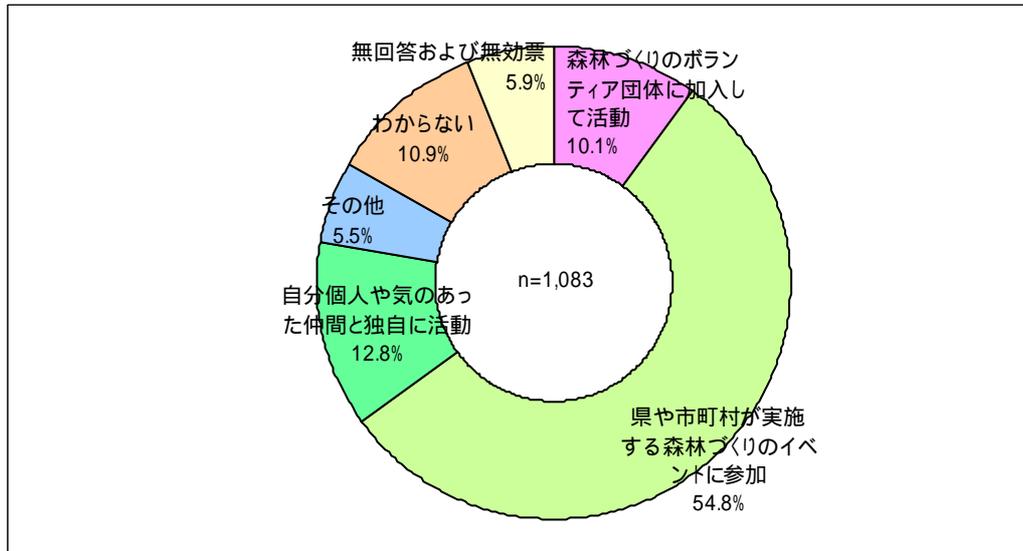


地域別では、大きな差異はみられなかった。

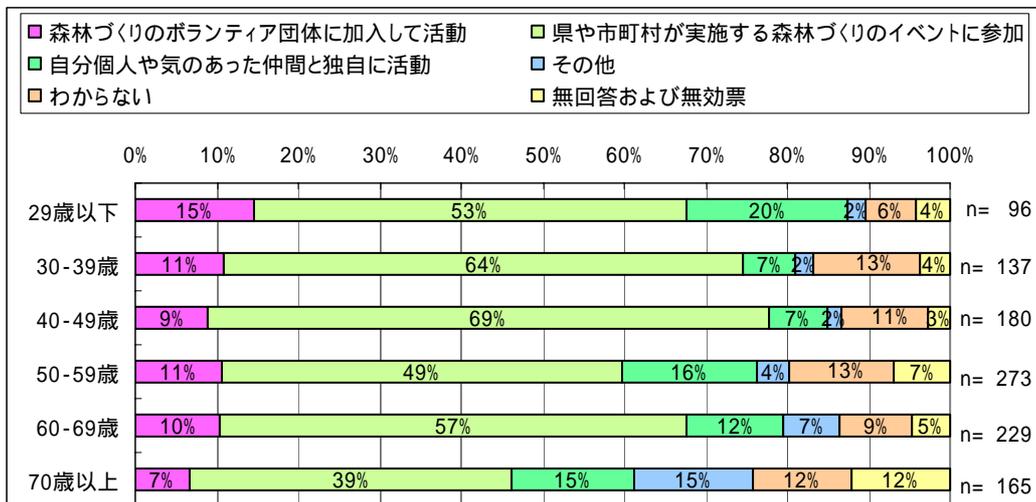


先ほどの質問で、『協力したい』と答えた方にお伺いします。
 仮に、あなたが森林づくりの作業にボランティアとして参加する場合、どのような活動がよいと思いますか。

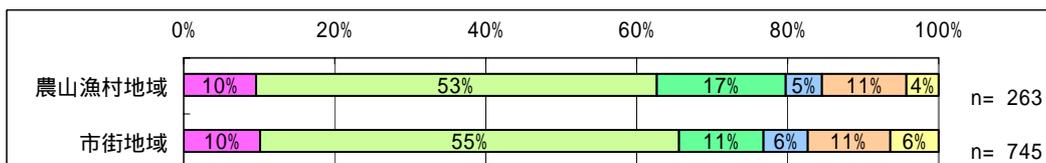
参加したい形態については、「県や市町村が実施する森林づくりのイベントに参加」が約55%と最も多く、次いで「自分個人や気のあった仲間と独自に活動」の約13%となった。



年齢別にみると、大きな差異はなく、各年齢層とも「イベントに参加」が最も多かった。



地域別では、大きな差異はみられなかった。



2 - 7 . 森林に関する意見等

712 件の自由意見が得られ、その結果を整理すると、間伐等を含めた森林の維持管理や植林等を含めた「森林の整備」に関する記述が最も多く、ついで、森林は大切だという意見や森林を残してほしいという「自然環境の保全」に関する記述、イベントの実施や学校教育などを含めた森林に関する情報提供の要望などの「普及啓発」に関する記述となった。

自由意見における意見区分

意見区分	意見の数	代表的な意見
森林の整備	233	間伐等の維持管理や植林等を含めた森林整備
自然環境の保全	148	森林は大切だという意見や森林を残してほしいなど
普及啓発	123	イベントの実施や学校教育などを含めた情報提供の要望など
担い手の育成確保	32	後継者がいないなど林業従事者の確保など
木材利用	14	県産材や間伐材の利用促進など
その他	162	森林行政に対する意見や森林を身近に感じないのでわからないなど
計	712	

3. まとめ

アンケート調査の結果を整理すると以下のとおりである。

- ・ 県民の約9割の人が森林に親しみを感じており、また、約7割の人が一年以内に森林に行ったことがあり、約9割の人が森林に恩恵を感じていることがわかった。
- ・ また、森林に恩恵を感じている人が、森林に対して期待していることは、
地球温暖化防止に貢献する働き
水資源を蓄える働き
災害を防止する働き
の順に多かった。
- ・ 本県の森林の管理に対する現状については、「手入れが不足している」と感じている人が約4割、「わからない」という人が約4割となった。
- ・ 森林を守り育てていく上で、必要だと思うことについては、
植林の実施
間伐等の実施
森林整備の担い手の育成
森林に対する環境教育やPRの実施
の順に多かった。
- ・ 森林整備のあり方については、約8割の人が、森林の維持管理のための費用負担やボランティア活動に協力したいと思っていることがわかった。
- ・ そのうち、協力したいと思う人に限定すると、費用負担については、
年間1,000円程度 約50%
年間500円程度 約27%
年間2,000円程度 約16%
となった。
- ・ 森づくり作業のボランティア活動として、参加したい形態については、
県や市町村が実施する森林づくりのイベントに参加 約55%
自分個人や気のあった仲間と独自に活動 約13%
わからない 約11%
森林づくりのボランティア団体に加入して活動 約10%
となった。
- ・ 自由意見では、「森林の整備」に関する記述が最も多く、ついで、「自然環境の保全」、「普及啓発」となった。

アンケート調査票

森林に関する県民意識調査

調査票記入に当たってのお願い

この調査票は、無作為に選ばれた県内在住の方にお送りしています。

ご回答頂いた方を特定することやプライバシーに関する項目が公表されることは一切ありません。

回答が終わりましたら、お手数ですが同封の返信用封筒（切手を貼る必要はありません。）に入れて、平成16年9月15日（水）までに、ポストにご投函ください。

なお、返信用封筒の宛先は、県が調査票の集計・解析を委託している「株式会社計画情報研究所」になっております。

質問はここからです。

問1 あなたは森林に親しみを感じますか。次の中から一つだけ○を付けてください。

- ア：たいへん親しみを感じる
- イ：ある程度親しみを感じる
- ウ：あまり親しみを感じない
- エ：ほとんど親しみを感じない
- オ：わからない

問2 あなたは、ここ1年くらいの間山や森に行きましたか。次の中から一つだけ○を付けてください。

- ア：行ったことがある
- イ：行っていない

問3 あなたは、日常生活の中で、森林の恩恵を受けていると思いますか。次の中から一つだけ○を付けてください。

ア：思う [問4へ進んでください]

イ：思わない [問5へ進んでください]

ウ：わからない [問6へ進んでください]

問4 前の質問で「ア」と答えた方にお伺いします。あなたは、森林にどのような働きを期待しますか。次の中から三つまで○を付けてください。

ア：木材を生産する働き

イ：キノコや山菜などの林産物を生産する働き

ウ：飲料水などの水資源を蓄える働き

エ：山崩れや洪水などの災害を防止する働き

オ：大気を浄化したり騒音をやわらげる働き

カ：二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化防止に貢献する働き

キ：森林浴など心の安らぎや保健休養の場としての働き

ク：貴重な野生動植物の生息の場としての働き

ケ：その他()

[問6へ進んでください]

問5 問3で「イ」と答えた方にお伺いします。あなたが、森林から恩恵を受けていないと思う理由をお書きください。

[問6へ進んでください]

問6 健全な森林をつくっていくには、適切な手入れをしていく必要がありますが、あなたは、本県の森林の現状についてどう考えていますか。次の中から一つだけ○を付けてください。

ア：適切に管理されている

イ：手入れが不足している

ウ：その他()

エ：わからない

問7 森林は、山村の過疎化や林業の不振などで荒廃することが心配されています。あなたは、本県の森林を守り育てていく上で、今後どのようなことが必要だと思われるか。次の中からいくつでも○を付けてください。

ア：健全な森林にするための間伐（樹木の抜き切り作業）等の実施

イ：スギなどの針葉樹と広葉樹が入り交じった森林の育成

ウ：放置されている草地や荒廃地における植林の実施

エ：県民が森に親しむための森林公園等の整備

オ：森林の公有林化（買い取り）による管理

カ：森林整備の担い手やボランティアの育成

キ：森林について理解を深める環境教育やPRの実施

ク：その他（ ）

ケ：わからない

問8 森林を守り育てていくためには費用や労力がかかりますが、森林の公益的な働きを維持強化していくために、費用負担やボランティア活動（労働力提供）などに協力したいと思いますか。次の中から一つだけ○を付けてください。

ア：積極的に協力したい [問9へ進んでください]

イ：できる範囲で協力したい [問9へ進んでください]

ウ：協力したくない [問11へ進んでください]

エ：わからない [問11へ進んでください]

問9 前の質問で「ア」又は「イ」と答えた方にお伺いします。仮に、あなたが費用負担するならば、年間どのくらいなら負担しても良いと思いますか。次の中から一つだけ○を付けてください。

ア：年間500円程度

イ：年間1000円程度

ウ：年間2000円程度

エ：その他（ ）

[問10へ進んでください]

問10 問8で「ア」又は「イ」と答えた方にお伺いします。仮に、あなたが森林づくりの作業にボランティアとして参加する場合、どのような活動がよいと思いますか。次の中から一つだけ○を付けてください。

ア：森林づくりのボランティア団体に加入して活動

イ：県や市町村が実施する森林づくりのイベントに参加

ウ：自分個人や気のあった仲間と独自に活動

エ：その他（ ）

オ：わからない

[問11へ進んでください]

問 1 1 森林の様々な機能など、森林に関するご意見を何でもお書きください。

--

問 1 2 あなた自身について、あてはまるものに○を付けてください。

性 別	男	女
年 齢	30歳未満	30～39歳 40～49歳 50～59歳 60～69歳 70歳以上
お住まい	市街地域	農山漁村地域 その他

**質問はこれで終わりです。
ご協力ありがとうございました。**

この調査についてお問い合わせがございましたら、以下までお願いいたします。

石川県 農林水産部 森林管理課（担当）坂口、金子

電話 076 - 225 - 1642

なお、お問い合わせは、平日（月曜日～金曜日）の午前9時から午後6時までの間
にお願いいたします。